

大学出張講義（化学）

日本化学会中国四国支部主催「化学教育に関する高等学校への出張講義」として、広島大学大学院先進理工系科学研究科から犬丸啓教授をお招きし、2・3年生の化学履修者に講義をしていただきました。タイトルは「化学が生む新しいナノ材料とその性質～超伝導から環境浄化まで」。実際の大学2年生の講義内容を説明していただきました。生徒たちは、「分かる！」「まだ聞いていたい！」と興味関心をもって「前のめり」で受講していました。ワークシートもメモでいっぱい！生徒それぞれに収穫の多いものになったようです。今後の学習や進路選択に役立てようとしていました。



広島大学大学院 応用化学プログラム の犬丸教授



真剣にメモをとっています

生徒の感想(一部)

- ・化学は自分たちの生活にとっても身近な学問なんだと気づきました。(同様の感想多数)
- ・ますます材料系の分野に興味をもったので、何が何でも第一志望の大学に合格して研究ができるようにしたいと思います。この講義を通して知識も深めることができました。
- ・大学はずっと難しいことを学ぶと思っていましたが、高校の化学や物理を「なぜ」と考えるのが大学の勉強だとわかって、今日の話も理解できたのがうれしかった。
- ・化学は覚えないといけないことが多く面倒で難しいと思っていましたが、ただ覚えるだけでなく、その中身や仕組みを理解することでもっと頭にしみこませやすくなると分かりました。
- ・大学に行ってよりよい研究をしたいので、今回の話は僕のモチベーションを上げるために役立てたいです。
- ・今まで化学に苦手意識をもっていましたが、今回の講義を聞いて化学に興味が湧きました。
- ・はじめは「難しそう」と思いましたが、「難しいけど、面白いな」と思うようになりました。

